

在宅介護支援センター

「高齢者の生活の中で困りごとがあれば国見苑に相談すれば何らかの解決策がすぐに提供していただけたことで先の見えない介護に明かりが見えた。」この言葉を今年度は多くいただきました。

相談件数は59件、相談方法は電話31件、苑に来所された方9件、訪問し相談を受けた方14件その他となっております。相談内容としては介護相談、施設入所や配食サービス、訪問入浴、寝たきり予防、紙おむつ支給等の相談がありました。

具体的な相談内容としては、認知症で家庭内では介護ができず家族が相談に来苑され専門病院を紹介した。一人暮らしの安否確認で訪問したところ、自宅で転倒し骨折され、介護保険の申請代行の後に訪問介護を利用されサービスを利用しながら元の生活に戻られた。御所市内で以前から苑に関わり協力していただいていた方が介護保険のサービス利用者になりました。介護する人からされる人への心理の垣根を越えていただくことを支援する難しさもありました。しかし、現在は施設のデイサービスを利用して住み慣れた家で生活されています。身体状況も安定し、共に老いることが当たり前のことであり、時の流れを共にしたことの縁が、更に時を経て同じところ(仁南会の施設)に集うことで元気で暮らしていることを喜び、施設の歴史や昔話を語り合う結果になっています。

地域別では苑周辺の掖上、柏原地区の相談が主になりましたが、まだ介護保険について理解されていない方もおられます。ショートステイや施設入所の相談が多く、家庭内の介護力よりも専門職に委ねるサービス利用にて、介護を長らえていく傾向が見受けられました。

9月に市内の在宅介護支援センター共催の元に国見苑在宅介護支援センターとして「人との出会いに学ぶ」というテーマで長年一人暮らしの方の安否確認を続け、在宅生活を支えてきた活動をイキイキライフセンターの多目的ホールにて報告いたしました。民生委員、老人会、自治会、食生活推進委員、ヘルパー、施設職員、ボランティア、市役所職員の皆様に国見苑支援センターがどのように地域に密着した活動を続け、更に市民の安寧なる生活を提供にすに至ったかを理解していただく良い機会でした。特に苑ボランティア様の一人から自分も歳を重ね介護される年齢になり、良いお話を聞かせていただいたとの言葉がありました。しかし、その反面、家族介護の厚さに任せて介入の時期を逸してしまい残念な結果に至ったケースもありました。

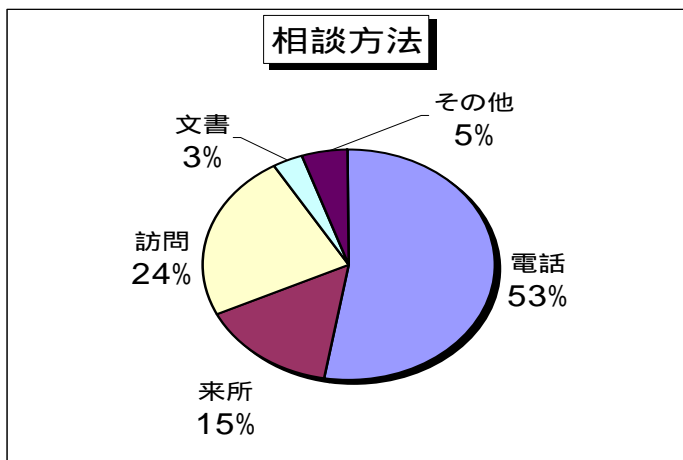
平成20年度に向けては、4月からは後期高齢者医療制度もスタートしました。個人情報保護に留意しながら、高齢者に関する情報がより多く、より早く、より解りやすく伝えられる支援・広報活動を続けていきたいと思っております。

相談受付件数 59件（実人数26名）

新規相談件数 17件

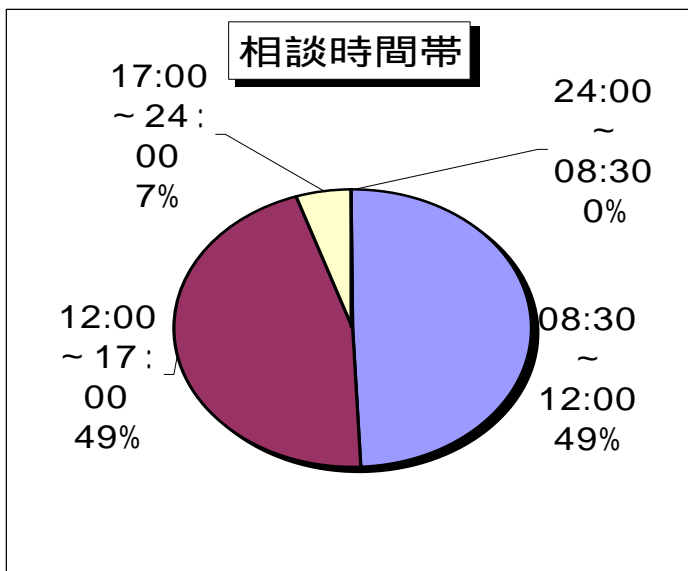
・相談方法

電話	31
来所	9
訪問	14
文書	2
その他	3
合計	59



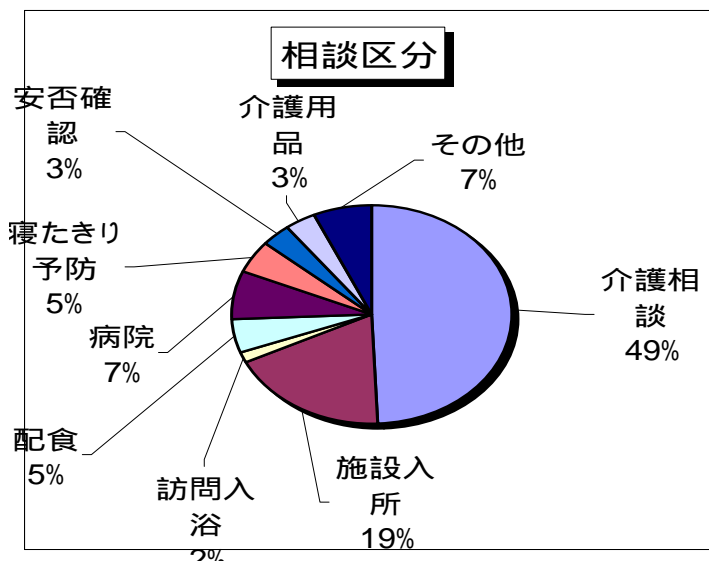
・相談時間帯

08:30～12:00	29
12:00～17:00	27
17:00～24:00	3
24:00～08:30	0
合計	59



・相談区分

介護相談	29
施設入所	11
訪問入浴	1
配食	3
病院	4
寝たきり予防	3
安否確認	2
介護用品	2
その他	4
合計	59



・地域別

大正	7
御所	6
掖上	20
秋津	4
葛城	7
葛	2
市外	12
その他	1
合計	59

